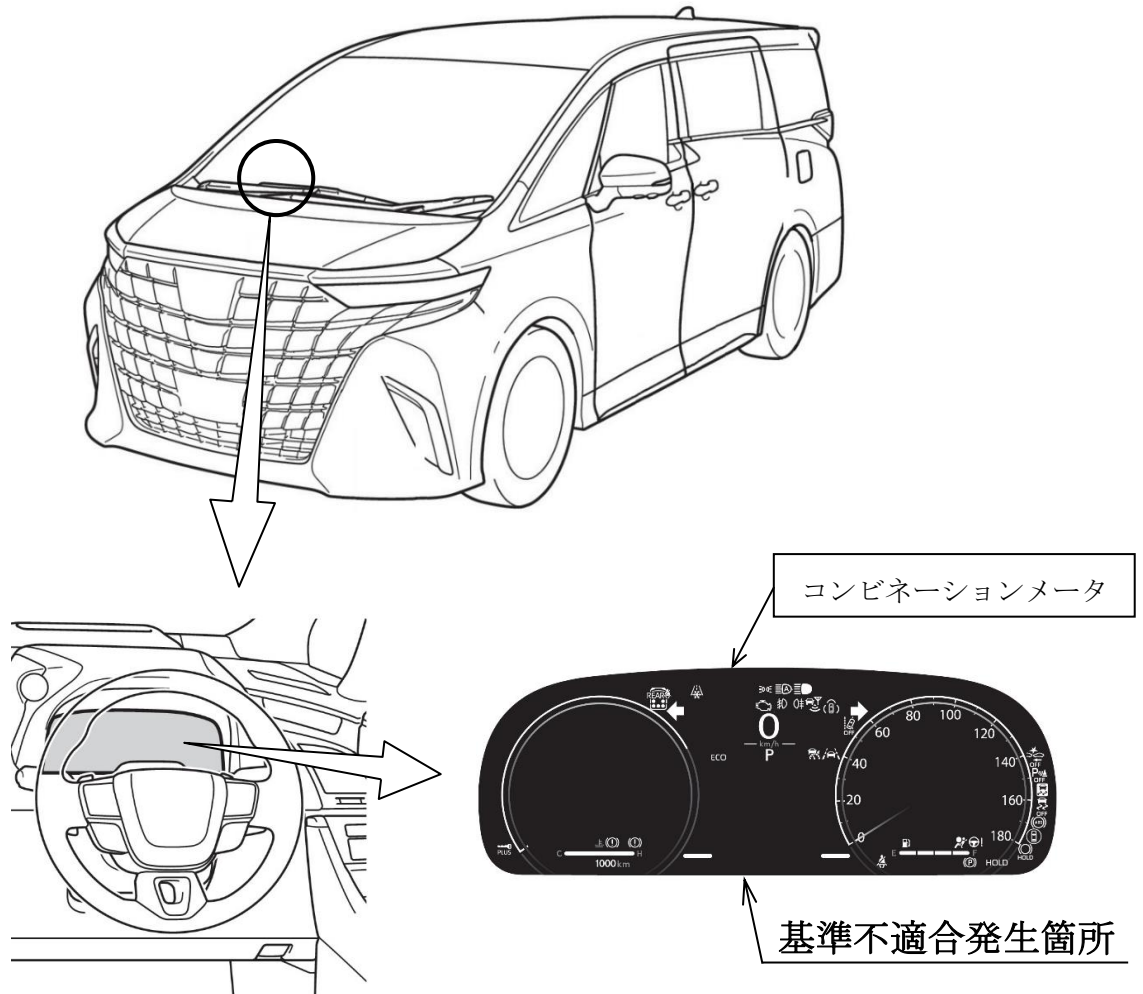


改善箇所説明図



注：□ は交換または修正部品を示す。

コンビネーションメータにおいて、制御プログラムの検討が不十分なため、当該メータ稼働時間が長くなると、回路基板上の素子が早期に劣化することがある。そのため、始動の際のメータ起動時にメータ画面が表示されず、速度計や警告灯等が確認できないおそれがある。

改善の内容

全車両、コンビネーションメータのプログラムを対策仕様に修正または当該メータを対策仕様のプログラムに修正した対策品に交換する。プログラムの修正は、OTA（無線通信）で遠隔配信し、使用者等にて行う。または販売店にて有線で行う。

なお、プログラム修正後にメータ画面が表示されなくなった場合は、メータを無償交換する。

識別：

当該メータ交換または有線でのプログラム修正の場合、

GR ヤリス、LS500、LS500h：改善済車両には車台番号のハイフン後 2 桁目の下に黄ペイントを塗布する。

上記以外の対象車：改善済車両には車台番号のハイフン後 1 桁目の下に黄ペイントを塗布する。

OTA でプログラム修正の場合、改善済車両はディスプレイオーディオに表示されるバージョンが下記（下線部）以上であることにより識別する。

GR ヤリス：1003、カローラクロス/LS500/LS500h：1004、アルファード[※]/ヴェルファイア/LM350h/LM500h：1007、GR カローラ：1020、センチュリー：1006、LBX：1005、上記以外のカローラ系：表示される SCOMO ID の上 2 桁が 22 は 1021、23 は 1003、クラウン：表示される SCOMO ID の 9、10 桁目が 30 は 1019、33 は 1005、35 または 58 は 1004